

MAX775W MAX675W NX615W

お客様へのお願い
本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店での取り付けをおおすすめします。

<販売店様へのお願い>
取り付け完了後、この「取付説明書」をお客様にお渡しください。

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●取り付けおよび結線を行う前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく作業してください。

●本説明書は取扱説明書とともに大切に保管してください。

クラリオン株式会社
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarionホームページ
<http://www.clarion.com>
製品についてのよくある質問は以下のサイトで確認できます。
<http://www.clarion.com/jp/ja/user-support/faq/>

安全上のご注意 必ずお守りください

運転者や周囲の人への危険、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分して説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容（表示・図記号）をよくご理解されてから本説明書をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■誤った使い方や取り付け方をしたときに生じる危険や損害の程度を区分けし、説明しています。

△警告 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。

△注意 「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

(禁止) してはいけない内容です。

(必ず行う) 必ず行っていただく内容です。

(注意) 注意しなければならない内容です。

■作業をはじめる前に・取り付け場所についての注意事項

△警告

●配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す…

ショート事故による感電やけがの原因となります。

●本機を次のような場所に取り付けない…
前方の視界を妨げる場所
ステアリング、シートレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所
同乗者に危険を及ぼす場所
運転操作を妨げたり、外れたりして、交通事故やけがの原因となります。

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対取り付けない…
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。

●取り付けする車のバッテリー電圧を確認する…
本機はDC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。
火災や故障などの原因となります。

●本機の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する…
指定容量に満たないコードを使用すると、電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

△注意

●フィルムアンテナを取り付ける場合、指定の取り付け位置に貼り付ける…
視界を妨げる位置に貼り付けると、安全運転に支障をきたします。

●雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこりの多いところへは取り付けない…
本機に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火の原因となることがあります。

●振動の多いところなど、確実に固定できないところには取り付けない…
本機が外れ、事故やけがの原因となることがあります。

●直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところや、本機の通風穴や放熱部をふさぐところには取り付けない…
本機に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

△注意

●車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意する…
パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとなるないようにまとめておく…
ステアリングやブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

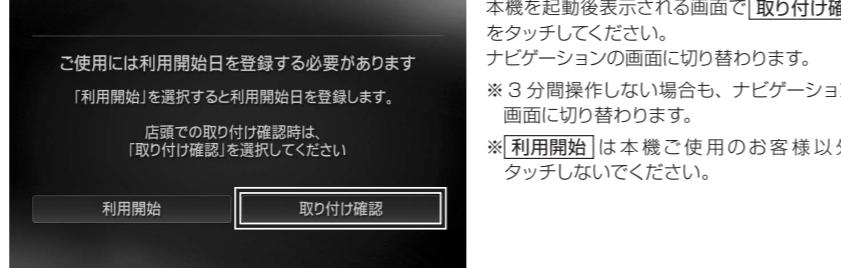
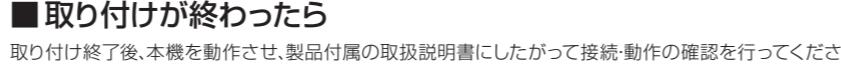
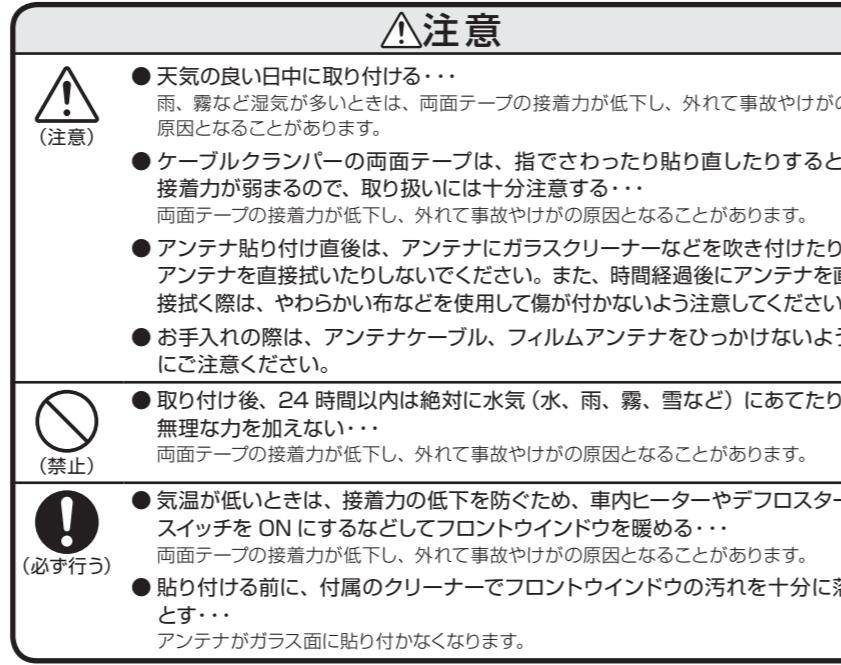
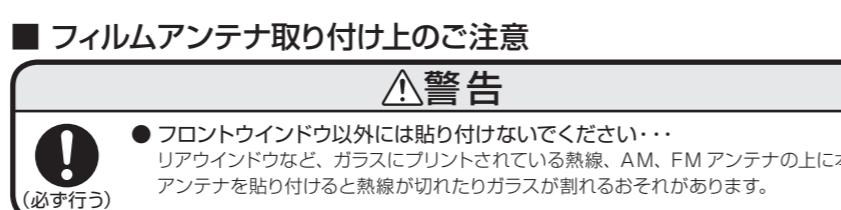
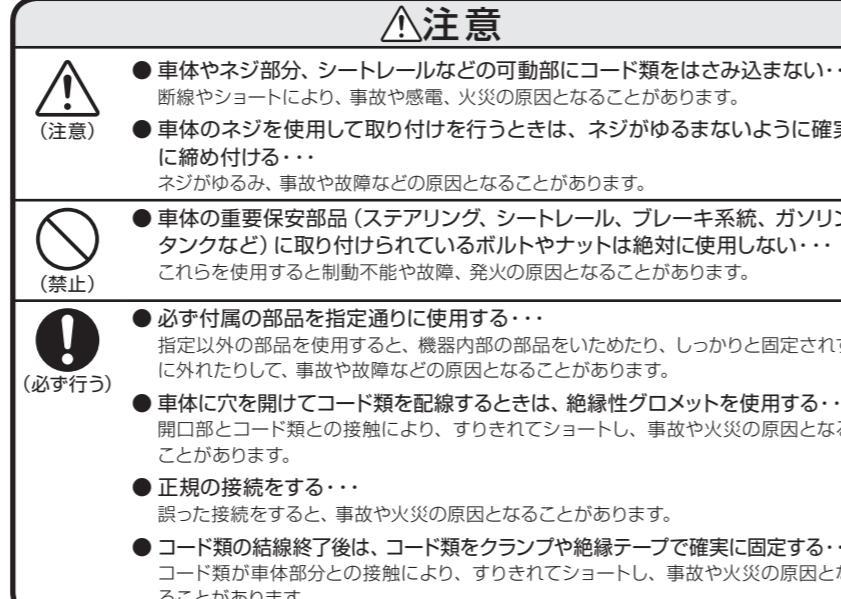
●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない…
電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。

●車体のボルトやナットを使用してアースを取るときは、ステアリングやシートレバー、ブレーキ系統などの重要保安部品のネジは使用しない…
事故や故障などの原因となります。

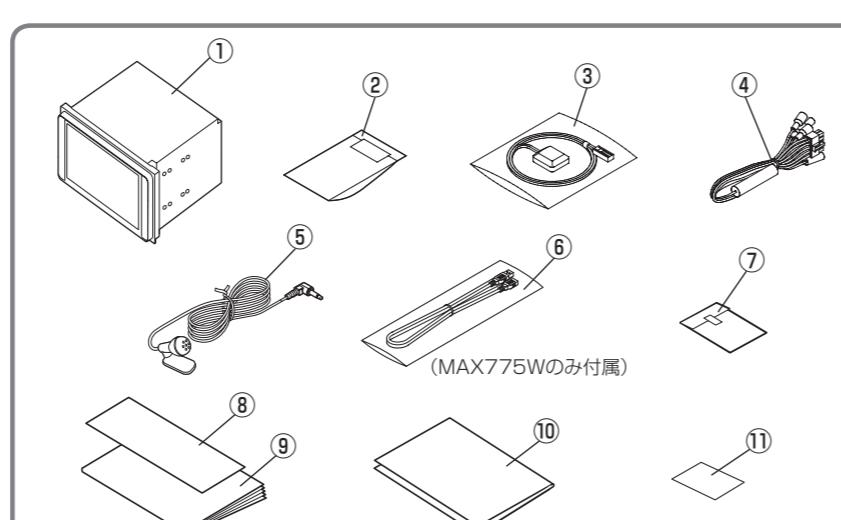
●エアバッグ装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する位置に配線しない…
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。

△注意

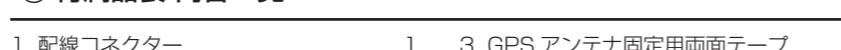
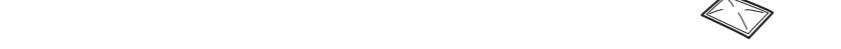
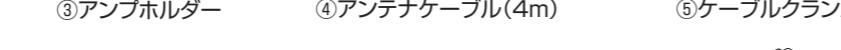
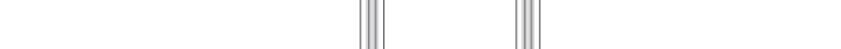
●接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。



① 本体	1	⑦ 付属品袋	1
② TVアンテナ（ZCP-131）	1式	⑧ 保証書	1
③ GPSアンテナ（2.5m）	1	⑨ 取扱説明書	1
④ 電源コード	1	⑩ 取扱説明書（本書）	1
⑤ ハンズフリー用マイク（3m）	1	⑪ シリアルNoラベル	1
⑥ 延長USBケーブル（MAX775Wのみ付属）	1		



1. フィルムアンテナ（L）	2	4. アンテナケーブル（4m）	4
2. フィルムアンテナ（R）	2	5. ケーブルクランパー	8
3. アンプホルダー	4	6. クリーナー	2



貼り付け位置について

- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず、下図の「貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、右ハンドル車と同様に貼り付けてください。(左右逆に貼り付けてください。)
- アンテナは、フロントウインドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けないでください。
- アンテナは、車検・点検シールなどと重ならないように貼り付けてください。
- アンテナは、ETC受光部、他のTVアンテナなどから20mm以上離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナの給電端子部およびアンプ部は、セラミックライン内に貼り付けないでください。ショートなど、故障の原因となります。

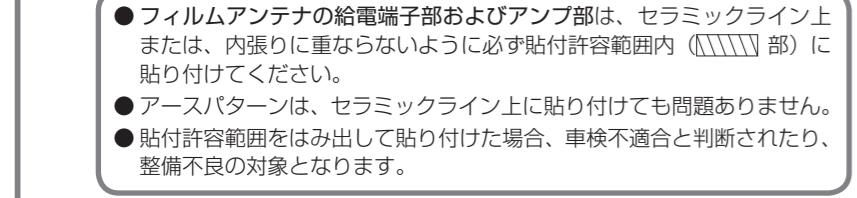
貼り付け手順

本紙は左側（フロントビラー）の取り付け方を説明しています。右側は対称の作業になります。

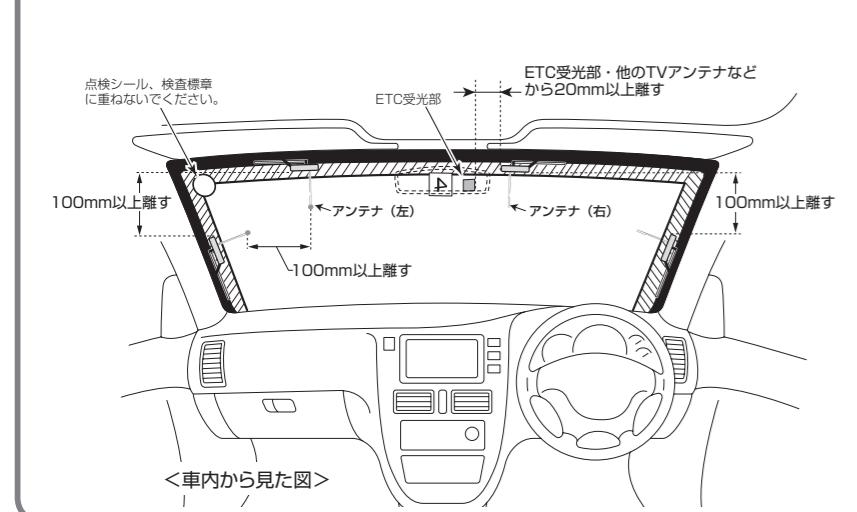
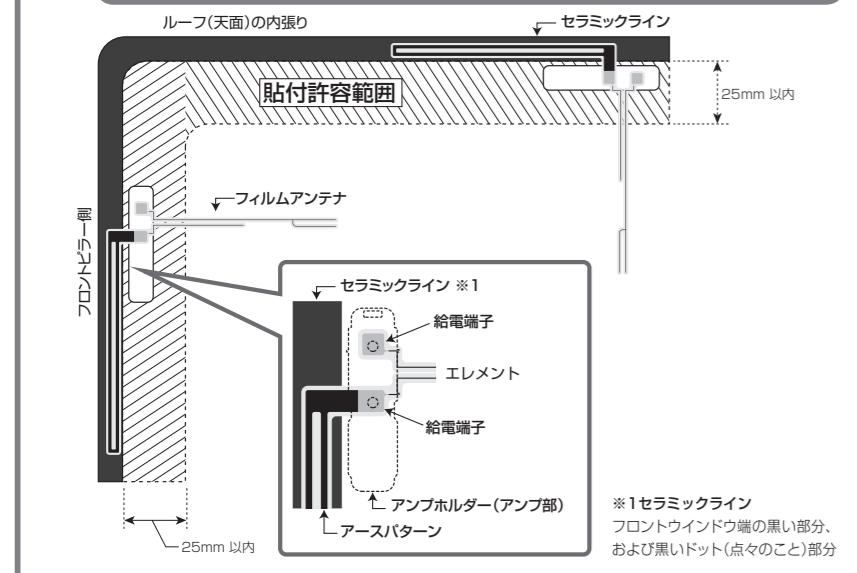
2 フィルムアンテナ・アンプホルダーの貼付位置を決める

- フィルムアンテナ・アンプホルダーの貼付位置は、下図の「貼付許容範囲」を参照して位置を決めてください。
- マスキングテープなどでフィルムアンテナおよびアンプホルダーを仮固定し、車内の内張り（フロントビラーなど）に当たらないことを確認してください。
- ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

■貼付許容範囲

- フィルムアンテナの給電端子部およびアンプ部は、セラミックライン上または内張りに重ならないように必ず貼付許容範囲（部）に貼り付けてください。
- アースバーンは、セラミックライン上に貼り付けても問題ありません。
- 貼付許容範囲をはみ出しても貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

- ご注意**
・フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。



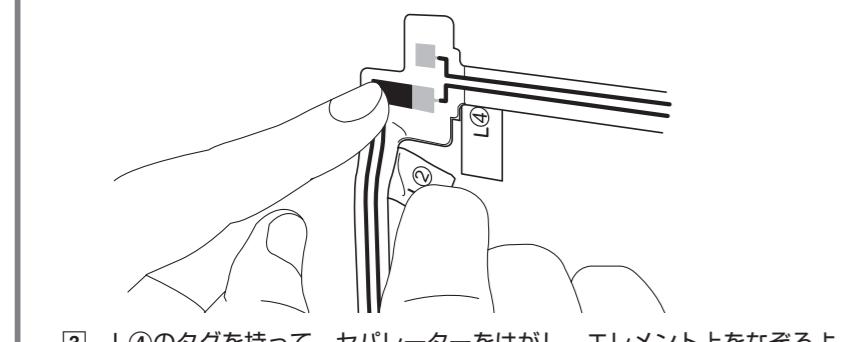
3 フィルムアンテナを貼り付ける

- L①のタグを持って、セパレーターをはがし、決めた位置に貼り付けてください。

- ご注意**
・フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損するおそれがあるためお止めください。
・本品は、ドライ貼付タイプとなっているため、霧吹きなどで吹き付けて貼り付けしないようお願いします。



- L② L③の順にタグを持って、セパレーターをはがし、アースバーン上をなぞるように指で軽くこすってください。



- L④のタグを持って、セパレーターをはがし、エレメント上をなぞるように指で軽くこすってください。



- 最後にフィルムアンテナ全体をなぞるようにやわらかい布などを使用して、ガラス面に密着させてください。

- ご注意**
・加圧が不足していると透明フィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線するおそれがあります。また、樹脂シールを使用する場合、エレメントを傷つけないよう十分注意して作業を行ってください。

4 透明フィルムをはがす

- L⑤のタグを持って、透明フィルムをはがしてください。フィルムアンテナが貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりと丁寧にはがしてください。

- ご注意**
・透明フィルムをはがした後は、給電端子に手を触れないでください。汗などの汚れで接触不良の原因となります。

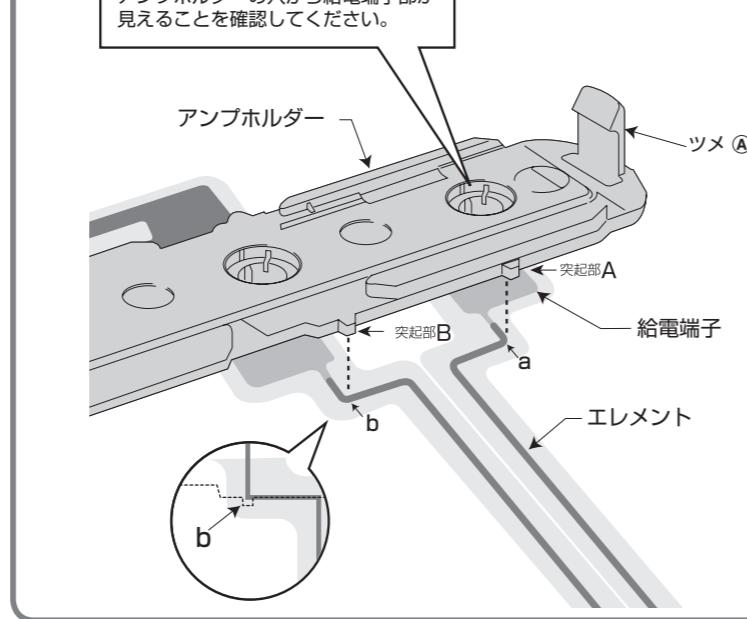
5 アンプホルダーを給電端子部に貼り付ける

- ご注意**
・アンプホルダーの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損するおそれがあるためお止めください。
・貼り付ける前にアンプホルダーの向きに注意してください。下図のイラストを確認してから貼り付けてください。

- アンプホルダー裏面のはくり紙をはがしてください。
- 給電端子部にアンプホルダーを貼り付けてください。
 - ・アンプホルダーにある突起Aとエレメントのa、bが重なるよう平行にアンプホルダーを貼り付けます。

- ご注意**
・浮きがないように強く押し付けてください。また、フロントガラス外側からガラス面に密着していることを確認してください。

■左側（フロントビラー）取り付け

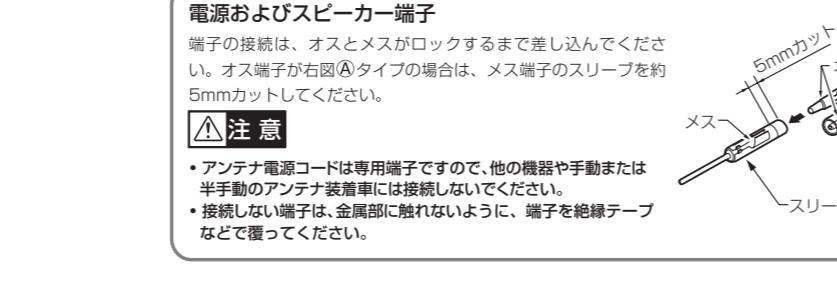
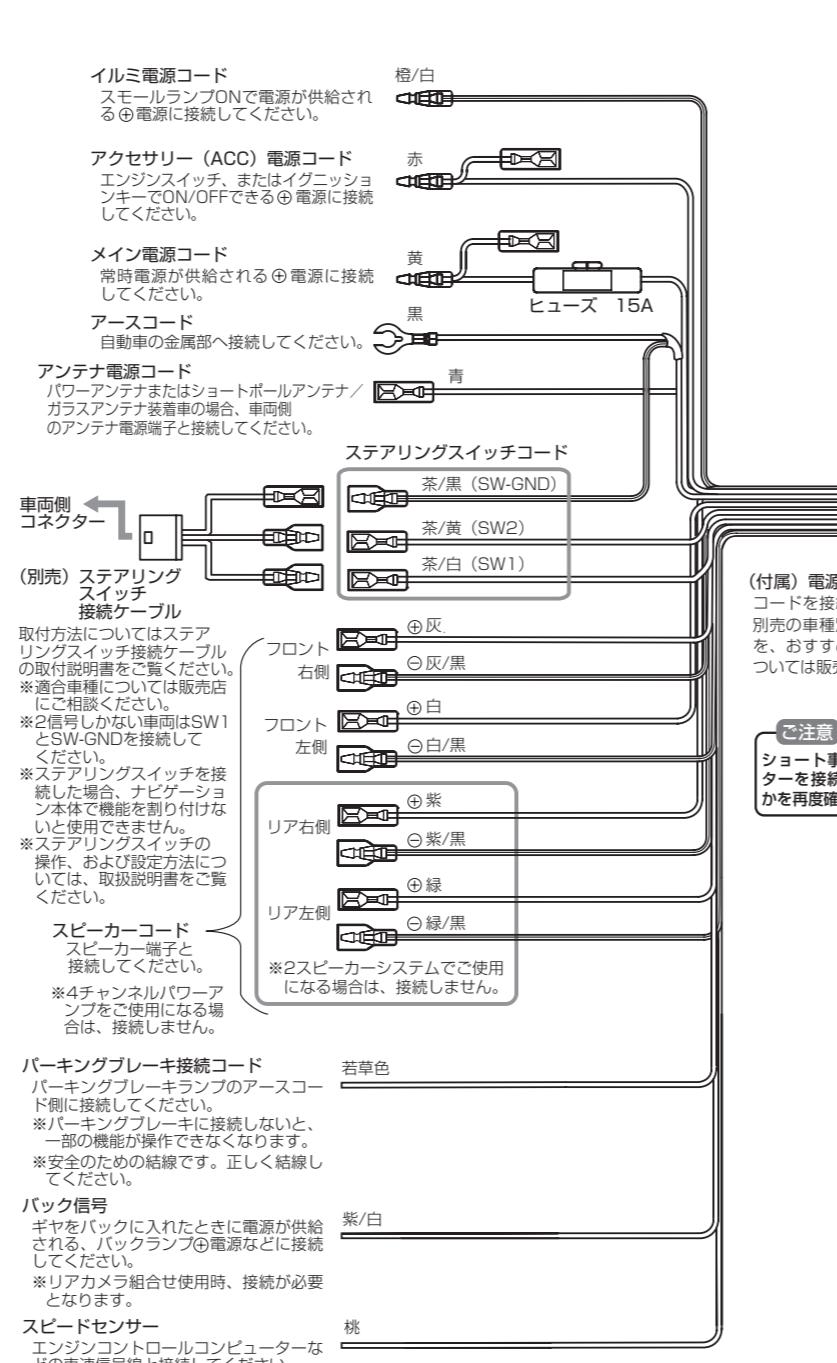


結線のしかた

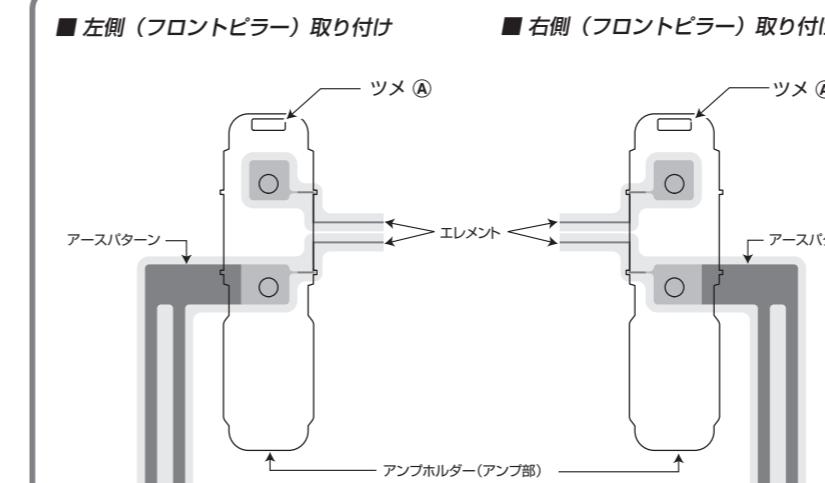
■警告

取り付け・配線の前に、必ず「安全上のご注意」をお読みください。

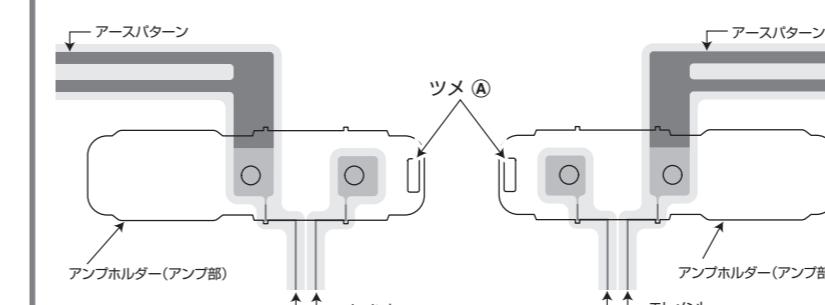
- 警告**
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを接続してください。
ショート事故による感電やけがの原因となります。
また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。
 - ・メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15AU以上の電流容量であることをお確かめください。15AU未満のときは、15A以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。なお、作業は販売店に依頼してください。
 - ・バッテリーに直接接続する場合は、容量20A以上で耐熱性を有する自動車用電源コードを使用し、必ずヒューズを装着してください。



■左側（フロントビラー）取り付け

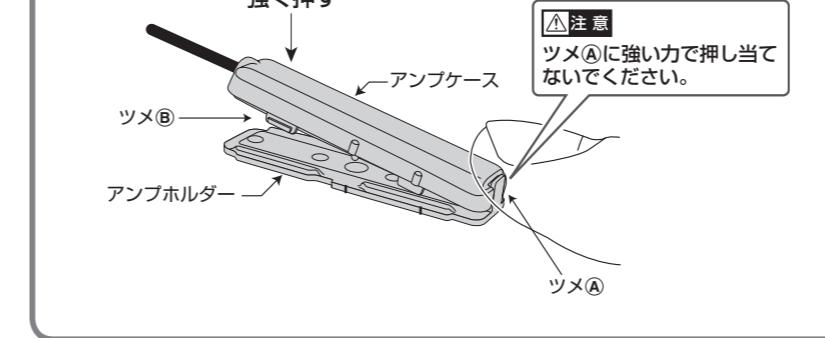


■右側（フロントビラー）取り付け



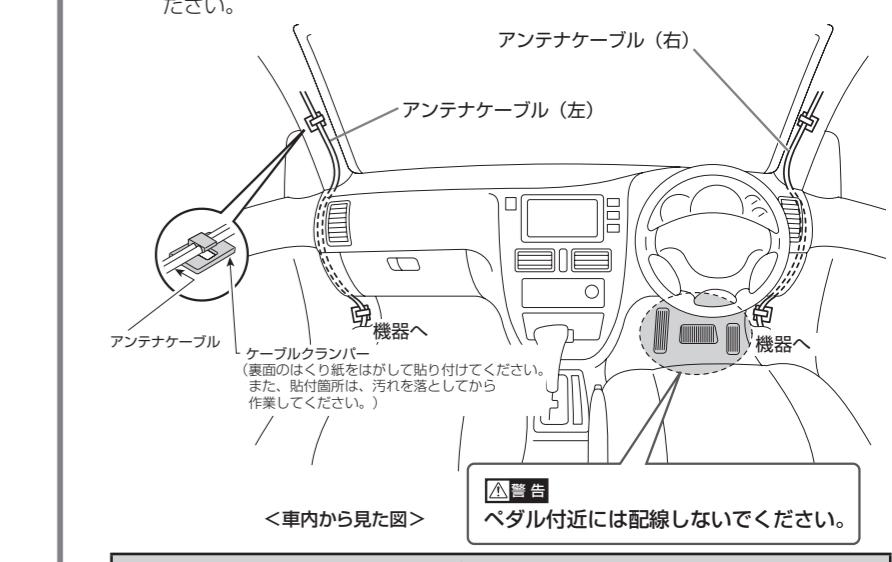
6 アンプケースをアンプホルダーに固定する

- アンプホルダー側面のツメ④を支点に指で押さえながら矢印の方向に強く押してツメ④をロックしてください。
 - ・アンプケースを押し込む際は、「カチッ」と音がすることを確認して、浮きがないように取り付けてください。



7 アンテナケーブルを固定する

- ケーブルクランパーで固定しながらケーブルの配線を行ってください。
 - ・アンプ部に負荷がかからないように、アンプ部を押さえながら作業を行ってください。



△警告

- フロントビラーにエアバッグが装着された車両には、エアバッグ動作の妨げとなる位置へ配線を行ってください。
- ・運転の視野を妨げないように、ケーブルを配線してください。
- ・ケーブル類は、運転席のエアバッグとなる位置へ配線を行ってください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。その際ケーブルは、曲げ部がΦ14mm（曲げR7mm）以上となるようにまとめてください。
- ・アンテナケーブルをビラー内などに押し込む場合は、樹脂ヘラなどを使用してください。
(先端部分が鋭利な工具などを用いて強い力で無理に押し込むとアンテナケーブルが破損（断線）する可能性があります。)

8 アンテナ端子を接続する

- アンテナ端子を機器のTVアンテナ端子へ接続してください。

- ・「結線のしかた」をご覧いただき、正しい位置に接続してください。TVアンテナ入力端子はロック付きです。端子を機器から外す際は、ロック部を押しながら外してください。

- ご注意**
- ・アンテナ貼り付け直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、やわらかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
 - ・お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかけないようご注意ください。

